

第23回 令和7年度 第4回 庄内学園学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月16日（月） 14時00分～15時30分
- 2 開催場所 庄内学園 会議室
- 3 出席委員 日置宇津広 佐藤真悟 木村裕子 山中千恵子 徳増祐志 山本真哉
後藤いづみ 宮本優子 石塚健次
ワザハバー 笹竹厚志（庄内協働センター所長）
- 4 欠席委員 日置 覚 荻 靖義
- 5 学 校 夏目聡美（校長） 黒田美知代（主幹教諭） 加茂真衣子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 なし
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 加茂真衣子（CSディレクター）
- 9 議長の選出

第1回学校運営協議会の中で、年間を通して議長は徳増委員にお願いすることで、異議なく承認済みであることを、確認。

10 前回の会議録確認

黒田より、前回会議録についての報告があった。

11 協議事項

- （1）学校関係者評価について（学校アンケートの結果分析）
- （2）次年度の学校運営方針について
- （3）学校運営協議会自己評価について

12 会議記録

黒田より、委員総数11人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価について

司会の黒田より説明があり、評価の低かった「困難に打ち克つたくましい庄内の子を育てるにはどうしたらいいか」「学校での学びを地域に生かすにはどんな方法があるか」について協議を行い、以下のような質問や発言があった。

○「困難に打ち克ち、たくましく生きる子供」について先生たちの定義は？【徳増】

→学年によってめざすところが違うので、「困難に打ち克つたくましい子供」を育てるための手立てを教師が話し合っていて決めている。9年間を見通してめざすところが少しずつ上がっていくように。【黒田】

→「困難に打ち克ち、たくましく生きる」は「粘り強く取り組む力」と捉えている。【校長】

○質問項目の文言が難しいのでは？それが評価の低さにつながっているのでは？【石塚】

→初等部は、子供たちに分かりやすい文言に変えて質問をしている。担任から捕捉の説明もしている。保護者には、学園だより「浜名湖」の中で、4つの評価項目について、どんな活動を通して子供たちを育てているのか説明をしたが、子供たちにも同じように活動を振り返った上で、評価をさせてもよかったかもしれない。来年度に生かしたい。【黒田】

○「学校での学びを地域に生かす」の評価が保護者には難しいのかもしれない。どういう状態が達成になるのか。ブログでは発信されているが、それ以外での発信がないので、その部分

を考えていくとよいのでは。保護者だけでなく、地域の方も見られるような取り組みや提案をしていくとよい。関わった施設や人に、HPなどで紹介してもらったり、そのリンクをさくら連絡網で保護者に知らせたり。また三者面談など、親子で来校する際に、子供が親に総合で行っていることの説明したり、庄内未来研究所の活動内容や成果物の掲示をしたりするなど、学校でやっていることを保護者に知らせる場を設けるのもよい。企業や団体など、関わった方からのコメントも子供たちへのよいフィードバックとなる。【徳増・日置・山本・石塚】

○今年度、庄内未来研究所の成果を保護者が見る機会は？【日置】

→今年度についてはなかった。3学期の参観会でやったらどうかという意見は出ているが、3学期は修学旅行や進路のことなど総合で他にすることもあり、参観会の時期とうまく合わないという問題もある。来年度は機会を設けられるよう、今職員で話し合いをしている。小学生にも、庄内未来研究所の活動を見せていきたいと思っている。【校長】

→発表とまでいなくても展示や掲示などを行い、保護者にはアンケートを取り、アドバイスやメッセージを書いてもらうとよいのでは。子供はコメントをもらえてうれしいし、保護者は活動の成果を見ることができてうれしい。文化祭をやるのもよい。【山本・徳増】

○地域のことをよく知る場面を増やし、自信をもって一步を踏み出したり、発信したりすることも、たくましい子供の姿だと思う。【佐藤】

(2) 次年度の学校運営方針について

校長より説明があり、全員異議なくこれを承認した。「先生方の健康が大事なので、ワーク&ライフバランスを大切にしてほしい。」「グランドデザインがあるとより分かりやすい。」という発言があった。【日置・宮本】

(3) 学校運営協議会自己評価について

学校運営協議会自己評価について、日置会長より説明があった。

13 その他の報告・連絡事項等

学校支援コーディネーター（徳増）より研修会の報告、校長より夢育やらまいか事業の報告、黒田より学校支援ボランティアの活動報告やコサージュボランティア募集のお知らせがあった。

学校運営協議会委員長が令和7年度末で任期満了となるため、これまでの学校運営協議会の取り組みについて説明があった。また、学校運営協議会会長（日置）より、令和8年度の学校運営協議会委員について説明があった。最後に黒田より、令和8年度の学校運営協議会の開催日時についての連絡があった。